

市国際交流員

4年間ありがとう、そして、これからよろしく



4年間在籍したサンディ・ファンさん

英会話指導や母国の文化紹介などで市民とふれあい、日本との交流の橋渡し役を務めた市の国際交流員サンディ・ファンさんが離任し、母国カナダに帰国しました。

サンディさんは、平成16年7月から平成20年7月までの4年間、保育園・小学校・重度身体障害者授産施設などで英会話指導やカナダ文化などを教えて交流してきました。

「国際交流員の任期は基本的に1年ですが、最初は2年在籍するつもりでした。しかし、鹿屋の人はみんな優しく、4年間在籍

してしまいました。4年間を振り返ると、着任時の鹿屋の印象は、緑が多い南国。正月やクリスマス時期になるとホームシックにかり、寂しい思いもしました。一番の思い出は、夏祭りです。また、かのやの焼酎が大好きで、4年間で1トン位は飲んだかもしれませぬ(笑)

一番嬉しかったのは、多くの子どもから『先生の英会話教室に参加するようになった』と言われたこと。その言葉が私の財産です。カナダでは、2010年に開催されるバンクーバー

冬季五輪関係の仕事がしたいです。

鹿屋の皆さん、4年間本当にお世話になりました。日本にある私のふるさととは『かのや』です。また、帰ってきます」と涙をこらえながら最後は笑顔で話してくれました。

サンディ・ファンさん、4年間お疲れさまでした。そして、ありがとうございます。

また、サンディさんに代わって、オーストラリアのシドニーからネイサン・バスティンさんが新しい国際交流員に着任しました。バスティンさんは、日本



新国際交流員のネイサン・バスティンさん

に住むのは今回が3回目です。鹿児島大学にも留学の経験があるそうで、「オーストラリアの文化や料理を紹介し交流を広げたいです」と抱負を話してくれました。ネイサン・バスティンさん1年間よろしくお願います。

県広報コンクール(広報紙・写真・ホームページ)3部門で入選受賞



7月24日 県広報大会で授与された賞状

鹿屋市が、平成19年度県広報コンクールの広報紙、写真、ホームページの3部門で優秀賞を受賞しました。

広報紙部門は、今年で4年連続の受賞となり、今回は、行政の難しい政策等を住民にわかりやすく解説し

ている点が評価されたほか、見やすい紙面のレイアウトなどの工夫がほどこされている点が評価されての受賞となりました。

また、ホームページ部門は初めてのエントリーでしたが、自治体ホームページの最大公約数的な出来栄え

で、企画・目的、広報機能、構成などの審査7項目全てにおいて平均点以上であると評価されました。

今後とも、広報力を高め市民の皆さんと行政の架け橋となるよう、引き続き力を注いでいきます。



写真部門でも見事入賞